

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	30	○かかりつけ医の受診支援： 緊急の際の対応として、かかりつけ医以外の医療受診が予想される事から、事前にご本人様及び御家族と話し合いの場を持ち、承諾を得ておく	現在の入居者様への対応、今後入居される場合の契約時の説明の徹底ができる様に準備・実施を速やかに行いたい	まずは現在の入居者様お一人お一人の受診状況や今後のレベル低下を見越した変化等を見直し、御家族に改めて説明・承諾を得る 今後は契約書の見直しを図り、入居時にその旨説明した上での同意を頂く様にする	3ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映： 職員の意見や提案が表明しやすい場づくり、 機会づくりを工夫する	現在は職員によっては直接相談に来る事ができているという状況であり、全職員が自分の意見を言い易い場ができているとは言えない為、ホーム長を介しての報告・相談を徹底できるシステムを確立したい	施設長・ホーム長・介護職員という単純な縦の系統であり、トップダウンでの引き締めのみならずボトムアップの改善を図り開けた現場となる様意識し、適する研修があれば先ずは指導者の立場の研修から取りかかる	3ヶ月
3	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映： 御家族の意見や苦情に対して事業所として対応・検討・反省等御家族に報告するまでの 流れを文書化し明らかにする	苦情だけでなく小さな意見や依頼まで、きちんと吸い上げる事ができる様に、こちらからの働きかけと御家族が持ちかけやすい環境を作りたい	外部評価でのご指摘通り、一連の流れを明文化し改めて御家族にご報告申し上げ 今一度意見の吸い上げを試みる その後も役職員一同、御家族から相談等がし易いと言ってもらえる様に心構えを統一する	5ヶ月
4	6	○身体拘束をしないケアの実践： 身体拘束とは何であるか、という基本的な事から入居者様の尊厳重視の支援となる様全職員にまで理解を浸透させる	研修を受講した職員のみならず、全職員が身体拘束の知識を持ち、現場でのケアに活かす事ができる様にしたい	身体拘束ゼロに向けての研修に参加した職員より、ミーティングや申し送りの時間を利用して吸収した内容を知らせ、情報や学習内容の共有をし、周知をしていく	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。